

# 第4回市貝町議会報告会

## 質疑応答の概要

この報告書は会議録を基に調整したもので、記載内容については、参加しなかった人でも、理解しやすいように、簡略化してあります。また、一部表現や言い回しを変えてありますのでご了承願います。なお、Q.は参加者からいただいた質疑・ご意見・要望等で、A.は議員の説明・回答内容です。

## 市貝町議会

## 議会報告会実施結果報告書

1	開催日時	平成30年11月10日（土）18時30分
2	開催場所	市貝町役場多目的ホール
3	出席議員	1番 関澤正一      3番 豊田功 5番 川堀哲男      6番 園部弘子 7番 小沢岩夫      8番 小埜斉 9番 小泉栄一      10番 山川英男 11番 高德義男     12番 和久和夫 13番 平野豊
4	参加者数	23名
5	実施内容	・平成29年度決算審査報告 ・地域防災組織づくりの体制強化について ・道の駅の第三セクター移行について ・食育について ・鳥獣害について他 ・意見交換
6	主な質疑・意見・要望等	別紙報告書のとおり
7	上記6に対する回答等	別紙報告書のとおり

市貝町議会議長 小 泉 栄 一 様

平成30年11月27日

第4回議会報告会の実施結果について、報告書を添付して提出します。

市貝町議会改革特別委員会

委員長 山 川 英 男

## 1. 農村レストランについて

**Q.**

農村レストランの計画については、農産物直売所や加工所が繁盛し、相当な利益を出していれば良いかと思いますが、現段階では、既存の施設をもつと有効活用する方向に重点を置いて運営をしてほしい。また、近隣の飲食店が成り立たなくなる可能性があるので、十分な検討をしていただきたいと思っています。

**A.**

執行機関からは、具体的な説明を受けていないため、説明を受けた段階で今回提案された意見を最大限に生かしながら対応を考えていきたいと思っています。

## 2. 新食肉センターの負担金について

**Q.**

新食肉センター整備にかかる当町の負担金の算出方法をお聞かせください。

**A.**

新食肉センター整備にかかる費用は、総事業費は約133億円であります。国からの補助金と新食肉センター整備支援事業負担金として県及び県内25市町が負担するもので、負担金の算出方法については人口比率で算出しているそうです。

## 3. マイナンバーカードの再発行について

**Q.**

マイナンバーカードを紛失しましたが、再発行するにはどうしたらよいですか。

**A.**

担当課は町民くらし課戸籍住民係ですので、印鑑と身分を証明するものを持参のうえ、申請していただければと思います。なお、以前に発行されたマイナンバーカードが見つかった場合には、返却していただきますようお願いいたします。

#### 4. ピアタウン自治会の公共下水道事業の工事について

**Q.**

ピアタウン自治会は独自で浄化槽を持っていて、衛生面や維持管理の面からも早く公共下水道事業の工事を進めてもらいたいのですが、今後の計画についてお聞かせください。

**A.**

ピアタウン自治会は公共下水道事業の計画区域内であり、現在工事を進めている赤羽地内の完了後の計画については、予算上の関係もあり現在検討しているところでもあります。

#### 5. 太陽光発電の設置の規制について

**Q.**

毎月行われる農業委員会の総会では、太陽光発電の農地転用が議題に挙げられるのですが、太陽光発電の設置については、ある程度の規制がないと、許可案件が多くなり、サシバが来なくなる可能性や景観が悪くなってしまうのではないかと心配しています。サシバの里を守る意味でも独自条例の制定を考えていますか。

**A.**

サシバは高い木に留まる習性があるため、森林の伐採をすることによりサシバの繁殖に影響が出てくると考えます。里地里山保全の観点からも太陽光設置を規制するための条例を制定できるよう提案していきたいと考えます。

現状は、平成30年9月1日付けで設置した太陽光発電設置のための事業に関する指導要綱に基づくと、現在、対象になる企業が4社くらいあるようです。

#### 6. 中間管理機構制度の周知について

**Q.**

農業の後継者がいない、不足である。これを理由に畑を売ってしまう。そこに、太陽光パネルを設置する事例が続いています。景観の素晴らしいサシバの里いちかいですから、このところも合わせてもう一度考え直してはと思

います。国が、中間管理機構という貸し手にも借り手にも条件の良い制度をつくりました。なるべく田畑は売らずに担い手に耕作を頼んで、永久にこの土地を保全していけるように、この中間管理機構の制度を、皆様に広く知ってもらおうように進めてみてはどうですか。

**A.**

国の農業政策の歴史をみると、耕作者は育ててきたのですが、今ここにきて経営者が育ててなかったのが、今の現状に繋がっていると思います。農業を営んでいても家計が安定すれば後継者は育つと思うのですが、残念ながら耕作者は育ててきた傾向にあります。農業経営者が育てていない。今農業で生計を立てるのは難しいし、他の職業より農業のほうが難しいと感じます。これが安定していれば魅力ある職業になると思います。

そういう点からも、町で農業者育成に対しての補助、国からの指導もあるので、農業委員や最適化推進委員と連携をしながら推進していきたいと考えます。

## 7. 自主防災組織について

**Q.**

現在の自主防災組織の設立状況ですが、赤羽上町、古宿下町などが設立されているところであります。我々の自治会は幸い防災組織に精通されている方がいたので設立ができましたが、町内の全自治会が全部設立できないです。防災担当者を町で設置していただいて、この人に相談すれば防災のことはわかりますよということをはっきりしていただき、スムーズに自主防災組織が立ち上げられるようにしてもらえると良いかと思えます。

**A.**

当町の現状は、自治会長さんが輪番制で1年交代等でやっているため、そうした組織がつかれないと思います。自治防災組織の立ち上げ方は、防災などに精通されないと難しいのが現状です。そうした指導をするのは総務課に消防係がありますから、そこがもっと指導的な立場で積極的にこうした組織をつくるための、指導をすべきだと考えております。確かに現在の自治会のあり方なども考えて、執行部に提案していきたいと考えます。

## 8. 防災士について

**Q.**

防災士の資格取得について、町で支援補助をしていただき、町の職員や一般の方にも声をかけていただければと思います。防災士の資格を持っている方が地域に何人かいれば、その方が中心になって防災マップ又はハザードマップを作成していける体制がとれるのではないかと思います。そのような推進をぜひ提案していただきたいと思います。

**A.**

防災士の資格取得については、総務民生常任委員会においても、執行機関と議論した経緯はあります。貴重な意見をいただきましたので、今後、担当課にも提案していきたいと思います。